

サービス見込量の進捗管理のための作業シート（平成30年度）

ステップ1：認定率の比較

	計画値	実績値	差異	差異について考えられる要因やその確認方法	認定者数		第1号被保険者数		
					計画値 (人)	実績値 (人)	計画値 (人)	実績値 (人)	
要支援・要介護認定率	16.7%	16.6%	△0.1%	計画：認定者数 989人(要支援135人、要介護854人) 実績：認定者数 988人(要支援137人、要介護851人)	989	988	5,912	5,955	
年齢階級	前期高齢者	4.9%	4.0%	△0.9%	計画：認定者数 137人(要支援 19人、要介護118人) 実績：認定者数 110人(要支援 18人、要介護 92人)	137	110	2,769	2,781
	後期高齢者	27.1%	27.7%	0.6%	計画：認定者数 852人(要支援116人、要介護736人) 実績：認定者数 878人(要支援119人、要介護759人)	852	878	3,143	3,174

ステップ2：受給率の比較

					受給者数		
サービス名	計画値	実績値	差異	差異について考えられる要因やその確認方法	計画値 (人)	実績値 (人)	
居宅サービス	訪問介護	2.8%	2.6%	△0.2%	訪問リハビリテーションは、第5期計画期間中に開設した2事業所の第6期期間中の利用者数の大幅な増加傾向が続くものとして第7期において計画値を算出したところ、見込みほど伸びがなかった。平成28年度～29年度をピークに提供体制が安定したものと考えられる。	1,968	1,845
	訪問入浴介護	1.0%	1.1%	0.0%		744	777
	訪問看護	0.8%	0.8%	0.0%		576	596
	訪問リハビリテーション	1.6%	1.3%	△0.3%	通所リハビリテーションは、第5期計画期間中の増加率から第6期期間中も利用者数の大幅な増加傾向が続くものとして第7期において計画値を算出したところ、見込みほど伸びがなかった。	1,128	900
	居宅療養管理指導	0.2%	0.1%	△0.0%		108	75
	通所介護	1.3%	1.2%	△0.0%		888	862
	通所リハビリテーション	2.9%	2.3%	△0.5%		2,028	1,679
	短期入所生活介護	0.7%	0.5%	△0.1%		492	392
	短期入所療養介護（老健）	0.2%	0.3%	0.1%		168	216
	短期入所療養介護（病院）	—	—	—		0	0
	福祉用具貸与	5.0%	4.8%	△0.3%		3,576	3,417
	特定施設入居者生活介護	0.0%	0.0%	△0.0%		12	12
	地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	0.0%	0.0%		△0.0%	町内の小規模多機能居宅介護（2事業所）の登録定員は合計58人で、計画では月平均51人の利用を見込んでいたが、実績は34.0人であった。地域密着型通所介護は、月平均48人で計画していたが、実績は38.8人であった。いずれのサービスも職員体制は充足しており、受け入れ可能である。
夜間対応型訪問介護		—	—	—	0	0	
認知症対応型通所介護		—	—	—	0	0	
小規模多機能居宅介護		0.9%	0.6%	△0.3%	612	408	
認知症対応型共同生活介護		0.6%	0.6%	△0.0%	444	439	
地域密着型特定施設入居者生活介護		—	—	—	0	0	
地域密着型介護老人福祉施設		—	—	—	0	0	
看護小規模多機能型居宅介護		—	—	—	0	0	
地域密着型通所介護		0.8%	0.7%	△0.2%	576	465	
施設サービス	介護老人福祉施設	2.1%	2.2%	0.1%	平成30年度の施設サービス受給者数は、ほぼ計画どおりとなっている。	1,524	1,571
	介護老人保健施設	1.5%	1.4%	△0.1%		1,032	996
	介護医療院	—	—	—		0	0
	介護療養型医療施設	—	—	—		0	0
介護予防支援・居宅介護支援	8.4%	7.1%	△1.3%	在宅サービス利用者数の減によるもの。	5,928	5,055	

ステップ3：受給者1人あたり給付費の比較

(円)

総給付費

サービス名		計画値	実績値	差異	差異について考えられる要因やその確認方法	計画値 (千円)	実績値 (千円)
居宅サービス	訪問介護	59,105	73,087	13,982	訪問介護・訪問入浴介護は、受給者数の減にかかわらず給付費が増加している。1人1月当たり利用回数が増加していることが受給者1人あたり給付費の増の要因となっている。	116,319	134,845
	訪問入浴介護	56,309	57,487	1,178		41,894	44,667
	訪問看護	39,792	37,725	△2,067		22,920	22,484
	訪問リハビリテーション	45,668	39,644	△6,024		51,513	35,679
	居宅療養管理指導	7,806	7,293	△512	訪問リハビリテーションは、1人1月当たり利用回数が計画値を下回っていることから計画との差異が生じたものと考えられる。 短期入所生活介護は1人1月当たり利用日数の減少、短期入所療養介護（老健）は1人1月当たり利用日数の増加の傾向がみられる。	843	547
	通所介護	62,132	57,213	△4,919		55,173	49,318
	通所リハビリテーション	62,407	57,371	△5,036		126,561	96,326
	短期入所生活介護	100,337	76,192	△24,145		49,366	29,867
	短期入所療養介護（老健）	72,268	88,593	16,326		12,141	19,136
	短期入所療養介護（病院）	0	0	0		0	0
	福祉用具貸与	14,713	15,489	776		52,614	52,926
	特定施設入居者生活介護	106,583	181,639	75,056		1,279	2,180
	地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	271,583	0		—	3,259
夜間対応型訪問介護		0	0	0	0	0	
認知症対応型通所介護		0	0	0	0	0	
小規模多機能居宅介護		183,572	220,805	37,233	112,346	90,088	
認知症対応型共同生活介護		258,725	257,926	△799	114,874	113,229	
地域密着型特定施設入居者生活介護		0	0	0	0	0	
地域密着型介護老人福祉施設		0	0	0	0	0	
看護小規模多機能型居宅介護		0	0	0	0	0	
地域密着型通所介護		89,010	85,841	△3,169	51,270	39,916	
施設サービス	介護老人福祉施設	267,802	272,526	4,724	408,130	428,138	
	介護老人保健施設	279,533	280,319	786	288,478	279,198	
	介護医療院	0	0	0	0	0	
	介護療養型医療施設	0	0	0	0	0	
介護予防支援・居宅介護支援		14,517	16,508	1,990	86,059	83,447	

ステップ4：サービス提供体制に関する現状と課題

第1号被保険者数(10月1日現在)は5,955人で、計画値(5,912人)と比べ43人の増であるが、要介護・要支援認定者は988人で、計画値(989人)と比べて1人の減となり、認定率は16.6%(計画値に比べ0.1ポイント減)となりました。第1号被保険者のうち、後期高齢者は3,174人で、計画値(3,143人)と比べ31人の増、前期高齢者は2,781人で、計画値(2,769人)と比べ12人の増となりました。
認定者の内訳は、要支援が137人で計画値に比べ2人の増、要介護が851人で計画値に比べ3人の減でした。
一般の介護予防事業に併せ、被災者支援事業として、要支援者、事業対象者を対象としたデイサロンや、仮設集会所等での介護予防事業を展開しており、一定の効果が表れていると考えられます。
デイサロン等の被災者支援事業は平成31年度で終了する予定となっていますが、介護予防に大きな役割を果たしてきたことから、介護予防拠点の再構築が必要です。また、これと併せ、新たに要介護状態となる方を少なくするための介護予防事業の一層の充実が必要です。

居宅サービスについては、全体としては概ね推計したサービス見込量と大きな乖離は見られません。訪問介護については、利用者1人1月あたりの利用日数が増加していることに加え、重度者（要介護3以上）の割合が増加している傾向が見られます。

施設系サービス・居住系サービスについては、満床の状態であり、大きな増減は見られない。平成31年度の認知症対応型共同生活介護1ユニットの整備後の状況を踏まえ、サービス提供体制の検討をしていく必要があります。